

## 週報

## こひつじ

第39巻 25号  
 大津キリスト教会  
 菊池郡大津町室 119  
 TEL 096-293-4470  
 FAX 096-293-4961  
 牧師 米村 英二

## 強制によらず

そこで、イエスは、人々が自分を王とするために、むりやりに連れて行こうとしているのを知って、ただひとり、また山に退かれた。

(ヨハネ六の一五)

## その一 天国にないもの

イエスを王とする。これは正しただひとり、また山に退かれた。かつまた当然なことで、すべと。

ての人にそれを勧めるのは、われわれクリスチャンの義務であると言えらる。イエスは、「強制」はおきらいも言える。

仮庵の祭りが近づいたときもそこ。ところが人びとがイエスを王にしようとしたとき、イエスはそれを拒絶なさった。

「祭司のため多くの人が集まるのを拒絶なさった。だから、あなたもエルサレムに行き、自分を見せよ。自分を見せよ。自分を見せよ。自分を見せよ。」

「そこで、イエスは、人々が自分を見て行こうとしているのを知って、なさい。わたしはこの祭りには行

きません。わたしの時がまだ満ちていないからです」

ところが兄弟たちが祭りに上ったあと、彼はひとり内密に上ってゆかれたとある。

さまざまな場面で、イエスは、「私の時はまだ来ていません」

と言って、人からの勧めを拒絶なさった、と書かれている。

そこで思う。イエスが時があつたように、われわれにも、自分の時というものがあるのではないかと。

子どもたちがまだ家にいた頃、中学生の息子がテレビを見ていた。試験中なのになかなかそこから動こうとしない。そこで私が言う。

「そろそろ自分の勉強に戻ったらどうだ」

すると彼はいつもこう答えたものだ。注意されると、意欲が削がれるんだよなあ」

子どもたちはいつも「むりやり」をいやがった。

「むりやり」は人間の本性に合っていないのだろう。

イエスも「強制」を好まれなかつた。

何であれ、むりやりに行なわれるとき、それはもう神の国のものではなくなってしまう。

イエスの王国に、断然ないものが一つある。それは強制であり、脅迫であり、おどしであり、したくないことをむりやりさせることである。

ある集会で、天国のことが話題になり、

「天国では仕事があるのでしょ

か」と質問を受けた。

私は行ってみないと、だれもほんとうのことはわからないのだけれど、と前置きして、こう答えた。

「『あなたはわずかなものに忠実であつたから、もつと多くのものを管理させよう』とイエスが言われたのですから、天国にも仕事はあるのではないでしょうか」

するとその人が言った。

「それなら地上の世界でそうであつたように、つらい仕事もあるの

だよなあ」

子どもたちはいつも「むりやり」をいやがった。

子どもたちはいつも「むりやり」をいやがった。

でしようか」

そこで私は答えた。

「おそらく天国にないものが一つだけあります。それはいいいやながら何かをするということ。それだけは天国にはないはず。多民族の住む世界に入つてゆくそのほか他人との比較や競争もないでしょう。すべては喜んで、心から、進んで、自発的に行なわれるのが天国なのではないかと思ひます」と。

その方は言われた。

「ああ、それなら安心だ」

(続)

### 今日の礼拝

○第一礼拝は午前一〇時から、第二礼拝は午前一一時から。○教会学校は午前一〇時からこひつじ館で。

○説教は米村牧師。

### 先週の礼拝

○司会は岩崎宏志さん。○奏楽は林田はるかさん。○説教は米村牧師。申命記二章

四〜六から。

イスラエルの民は長い間、荒野にいました。荒野では多民族との接点はありません。いわば鎖国状態です。しかしこれから、彼らは多民族の住む世界に入つてゆくそのほか他人との比較や競争もありません。異なる宗教や文化を持つ人たちとどう接したらよいか。先週は、そのことについての神の助言をとりあげました。

### 先週の出席

○第一礼拝が四二名、第二が四三名、合計八五名(男三一、女五四)。子ども二一名。合わせて九六名。

○岩崎宏志・まるみ夫妻の長男

聖士さんとその子どもたち三人が

ひさしぶりに来会。

### 消息

○米村幸子さんは東京の家族訪問のため六月二一日(水)〜三〇日(金)東京滞在中。米村牧師は六月二七日(火)に上京。幸子さんと合流。

○六月二九日(木)米村夫妻は日野教会の岩崎牧師を訪問予定。

### 小集会報告と案内

○六月二〇日(火)午前一〇時若い母親の会(教会)。四名参加。○六月二〇日(火)午後一時半菊陽集会(高宮宅)四名参加。○七月七日(金)午後二時西原集会(石山宅)

### 牧師身辺

妻は先週の水曜日(二一日)に東京へ発ちました。一〇日ほど練馬の長男宅に滞在しながら、姉や姪たちを訪問します。